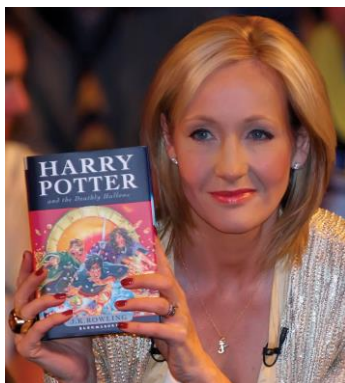


『Mind Charging』

第 170 回 発行：入試広報室 発行日：令和 2 年 12 月 5 日

J・K・ローリングの名言



Death is just life's next big adventure.

死というのは、ただ人生の次に起こる大冒険にすぎないのよ。

何の前置きもない状態でこの言葉だけを読んだとしたら、『何を言ってるんですか？』と、“おかしな言葉”としてしか評価しなかったかもしれません。それが、魔法の世界を描いた映画『ハリー・ポッターシリーズ』や、『ファンタスティックビーストシリーズ』の小説の著者であり脚本家の彼女の言葉だという前置きがあることにより、“この言葉の裏にあるメッセージはなにか？”という“謎解き”をしたくなります。イメージというものは本当に大きなものですね。

誰もが一度は想像したことのある“死後の世界”ですが、それについては諸説あり、様々な内容の話をこれまでに聞いてきましたが、どの話も確固たる証拠がないと感じるために素直に納得ができないものばかりです。命あるものには必ず終わりがあることを理解しているからこそ単純な怖さと共に“本当のことが知りたい！”という欲求はかなり強いものがあります。

私としてはこの言葉は本当の『死』以外にも指しているのではないかと考えています。例えばみなさんのような高校生としての終わりとは“卒業”ですよね。高校を卒業後は進学や就職など、それぞれの進路に向かってこれまでと違う世界に飛び込んでいくこととなります。ある程度のイメージはあっても初めてのことであり、それは人生における『大冒険』だと言えます。特に 3 年生は徐々に近づいてくる卒業や次の舞台に対する楽しみも不安もあると思います。自分の人生を切り開く大冒険に出かける直前の今、どのような締めくりができるかをテーマに持って過ごすことが一番の準備に繋がるものと私は考えます。3 年間というあっという間に過ぎてしまう時間を、未来の数十年に自分はどのように生かすことができるのかを想像し、自分への期待を胸に準備することで、本当に大冒険に出かける前のワクワク気分が味わえるのかもしれないですね。(編集委員：入試広報室 鈴木)

ジョアン・ローリング(英: Joanne Rowling, CH, OBE, HonFRSE, FRCPE, FRSL, 1965 年 7 月 31 日 -)、ペンネーム: J・K・ローリング またはロバート・ガブルプレイスは、イギリスの小説家兼脚本家。『ハリー・ポッター』シリーズの作者として知られる。このシリーズは世界中で反響を呼び幾多の賞を獲得した他 4 億部以上出版されている。これは史上最も売れたシリーズ作品であり、また劇場版シリーズは世界歴代 12 位の興行収入(2019 年 10 月 25 日現在)をあげた。また、ハリーポッターシリーズの外伝である「ファンタスティック・ビーストと魔法使いの旅」で脚本家としてデビューした。(Wikipedia 参照)